

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2009.10.25
No.994

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

“不況打開、なくせ貧困、
守ろう！いのちとくらし”

11.8国民大集会

11月8日(日)
東京・代々木公園 12:00開会



上、名古屋市職労 右上、春日井市職労 右下、瀬戸市職労
左下、名水労

さあー！くろく守るやま場へ

10・15全国統一 行動で決起

生活破壊をもたらす史上最悪のマイナス勧告と、現業賃金削減をゆるすなど10月15日「10・15自治労連・現業全国統一行動」がとりまれました。

愛知では名古屋市職労、名水労、春日井市職労、瀬戸市職労が決起集会、豊川市職労、長久手町職労、中

水労、半田市職、犬山市職、岩倉市職などが早朝宣伝や意思統一学習会、職場決議をとりくみました。

今後各単組は、使用者責任の追及と「労使合意で解決をはかる」ことを確認し、交渉の山場となる第2次交渉ゾーン(11月9日、13日)で、臨時・非常勤の均等待遇、処遇改善を含む前進回答を引き出すことにしています。

交付金を申請して 介護職員の処遇改善を

自治体一般豊橋市福祉事業会分会



福祉労働者は精いっぱいがんばっていると杉浦さん

国は、「介護職員の処遇改善・拠点整備」を行うとして、3923億円(事業費)を、「介護職員の処遇改善等を行う事業者に対し、10月から、1人あたりの賃金・平均月額1万5000円引き上げる金額を3年間助成」としました。この交付金の活用について、自治体一般豊橋市福祉事業会分会の副会長で保育士の杉浦伸枝さんにお話をうかがいました。

今、介護職場は他の職種にくらべ、賃金は安く、労働条件も悪い。そのため、「介護離れ」が進み、深刻な人手不足が進行しています。豊橋市福祉事業会分会でも、

組合のアンケートでは、職員1/3が疲労蓄積度が高いと出て、メンタル不全直前の職員が潜在的にいるといえます。しかし、職員は大変ななかでも、「利用

法人に要求書を提出しました。その内容は、交付金がつけられるよう申請を行うこと。非正規職員にも正規職員と同等に改善を行うこと。交付金の配分や申請の内容は、労働組合と協議すること、としました。しかし、法人は、「平成21年度について申請はしない」「交付金が一部の職員に対してであり、職員間での不均衡

を調整できない」と回答してきました。確かに、交付金には使途制限がかかっています。が、自立支援報酬の5・1%アップには制限がありません。政府の説明でも、「介護福祉職員以外の処遇改善については、介護報酬・自立支援報酬改定等を活用し対応されたい」と明記されている」と、当局の姿勢を批判します。



県市町村課交渉

県本部は10月21日、秋季年末要求で、県市町村課交渉を行いました。県本部から「市町村の賃金の引き下げに固執するのではなく、ラス100以下など低いところへ技術的援助をすべき」との追求に対し、県は「国との差が広がらないようにしたい。100以下の市町村は、15%特昇枠を活用してないところが多い。査定昇給制度をすすめた」と考えを示しました。県本部から「査定昇給は容認できない。違った方法での改善で差を縮めるべき」と主張しました。

また、県は、市町村への激励・支援の基本を「地公法の趣旨に添った運用の徹底」であるとし、「地域の事情と住民の理解が重要」、「勤務条件に関わる問題では、労使での十分な協議は当然」と表明しました。県本部から「住民の理解が国準拠であるならば労使協議の余地がなくなる。現行の給与制度は、給与条例・関係規則が議会でも可決されているので住民の理解が得られているはず。議会軽視とあわせて自治体への介入ではないか」と追求しました。

自宅に係る住居手当について、「廃止を基本に見直しを求める」ことに固執していた県に対して、人事院の人事説明会で、人事院の「国と地方自治体の実態が違ふことは承知している。むしろ民間企業は地方自治体の方が近い性格。国がなぐしたから地方もなぐせという立場でない」とした主張を県側に伝え、姿勢を改めることを求めました。非常勤職員の忌引等の人事院規則の改正などの積極面を市町村にも十分徹底し、改善を強く申し入れ、交渉を終了しました。

貧困の削減目標示し 安心できる社会を

「格差と地方自治」を考える学習交流集会

愛労連、愛商連、自治労連など8団体が主催した、「格差社会と地方自治」を考える学習交流集会が10月18日、名古屋市内で開催されました。

記念講演は、反貧困ネットワーク代表、派遣村名誉村長で弁護士宇都宮健児さんが「反貧困運動と地方自治体への期待」と題して講演。宇都宮さんは、貧困はなかなか見えにくいのが、



年越し派遣村のとりくみによって、一気に目に見える形になったと指摘。日本は生活大国でありながら貧困大国になっており、結婚できない労働者が大企業の中にもでてきている。国は貧困率の調査を行い、貧困の削減目標を掲げるべきだ」としました。そして、「地方自治体は色々なセクションを持っており、各部署が機能を丸とってやれば、対策はできる。それをワンストップでやる必要がある」と自治体への期待を語りました。

仲間とつながろう

県本部青年部定期大会



県本部青年部定期大会が10月17日、18日に開催されました。初日は、平和学習がとりくまれ、ピースあいちと守山駐屯地や小牧基地、高蔵寺弾薬庫を見学しました。2日目の大会ではおきづ報告会と、「全国の仲間とつながっていきたい」平和活動に参加した

職場オルグを行っています

西尾市職

西尾市職員組合では、確定闘争の前進にむけ現在、職場オルグを行っています。人事院勧告や、勤務時間短縮問題と、幡豆郡3町



昼食をたべながら真剣にはなしをきく組合員

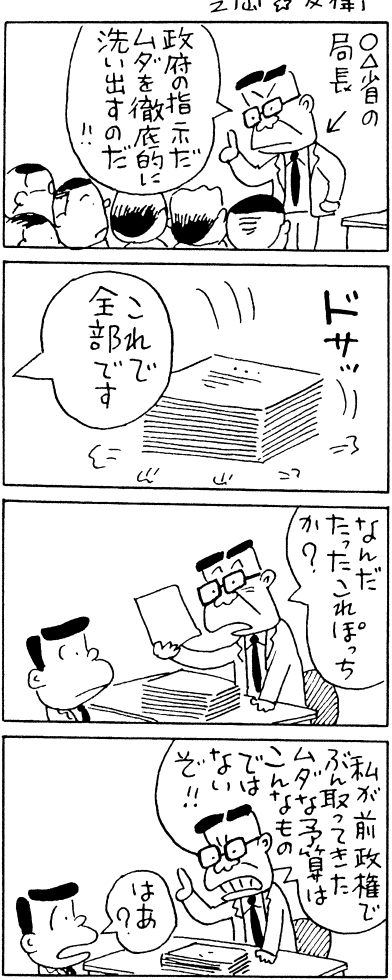
との合併問題の3点です。10月8日から、5日間かけて本庁職場を行っています。昼休みに昼食を食べながら役員が説明をする方式をとりました。今回は、合併問題が浮上する中で行われており、今

ようこそ新人さん!

岩倉市職

10月7日、岩倉市職は、新入職員の歓迎会を開催しました。当日は台風が接近してい

ニクス笑アツ



自治労連共済の
セツト共済
月々1,790円の掛金で病欠入院
1日5,000円



10月採用と4月採用の新人が仲良くハイポーズ

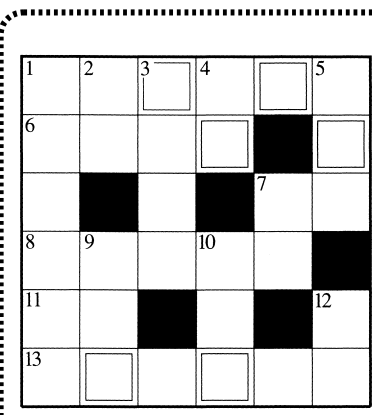
てあいにくの雨模様となりましたが、10月1日付で採用された事務職4名の新入職員全員の参加と、新入職員の配属先となる各職場からの先輩職員などの総勢27名の組合員で迎え、大いに会場が盛り上がりました。新人さんから「早く仕事に慣れて、みなさんの名前を覚えらるるようがんばります」などフレッシュな感想が寄せられました。

990号の答えは「キャンパス」でした。44通の応募があり全員が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。

平野 雅雄(名古屋市職労)
田村 享子(名古屋市職労)
早瀬 牧子(大学学労)
安田 純子(長久手町職労)
西村安季子(犬山市職労)
横幕 貴英(瀬戸市職労)

第30回自治体にはたらく女性の
全国交流集会
11月28日(土)13:00~
29日(日)12:00まで
ばしょ 千葉県教育会館

クイズの
当選者
山田 浩貴(中水労)
竹安 誠(岩倉市職)
河合 良成(豊橋市職労)
伊藤 友伸(豊橋市職労)



【ヨコのキー】①客の顔が見える— ⑥宵のうちの薄暗いとき ⑦〇〇にも衣装 ⑧手助け、加勢 ⑩労働時間を減らし〇〇を楽しむ ⑬—な出会いに心ときめく

クロスワードパズル



おたのしみプレゼントつきクイズ
左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書力かけて形を作る遊び
④薄〇〇悪い ⑤—ではない ⑦君の出る〇〇 ⑧—がする ⑩—は ⑪—は ⑫〇〇夜

1日(10000円分)を贈呈します。
〒462-0845
名古屋北区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは11月30日必着。ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など書き添えてください。